

車両の概要

京王線

5000系

2017(平29)年9月に登場した、京王線の最新車両です。当社初のクロスシートとロングシートの両方に転換できる座席を搭載し、通常列車だけでなく座席指定列車「京王ライナー」としても運行しています。車内は、既存車両に比べ座席幅を広くした他、無料Wi-Fiや空気清浄機の設置、車いす・ベビーカースペースの全車への設置など、サービスの向上を図っています。また、消費電力削減のため、新型VVVFインバータ制御装置やLED照明を採用している他、回生電力を有効活用できる車上蓄電池システムを導入し、一層の省エネルギー化を図っています。



在籍車両数 50両

9000系

2001(平13)年に登場した車両です。VVVFインバータ制御装置や、8000系よりさらに軽量化されたステンレス車体の採用により、一層の省エネルギー化が図られました。車内は、ドア上部に次の停車駅などを文字でお知らせする車内案内

表示器やドアチャイム、車いすスペースを設置するなどバリアフリーに対応した車両となっています。また一部の車両では自動放送装置の搭載や車内案内表示器に液晶画面を採用するなど、さらなるサービスの向上を図っています。なお、一部の車両は都営新宿線にも乗り入れています。



在籍車両数 264両

8000系

1992(平4)年に登場した、当社で初めてVVVFインバータ制御装置を採用した車両です。軽量ステンレス車体構造や機器のコンパクト化による軽量化など、従来車両と比較して大幅な消費電力の削減を実現した他、車内案内表示器やドアチャイム、車いすスペースの設置などバリアフリーに対応した車両となっていま



在籍車両数 244両

す。また、現在は車いすスペースの増設や新型VVVFインバータの導入など車両のリニューアルを進め、さらなるサービスの向上と省エネルギー化を図っています。

7000系

1984(昭59)年に登場した、京王線初のステンレス車両です。当初は界磁チョップ制御車両でしたが、リニューアル工事にあわせてVVVF車両に改造するとともに、車内案内表示器や車いすスペースを新設するなど、全ての車両が省エネルギー化、バリアフリー化に配慮した車両へと生まれ変わりました。



在籍車両数 178両

井の頭線

1000系

1996(平8)年に登場した、井の頭線初の大型20m4扉車両で、レインボーカラーを採用しています。井の頭線で初めてVVVFインバータ制御装置を導入し、従来車両と比較して大幅な消費電力の削減を実現しました。車内は、ドア上部に次の停車駅などをお知らせする車内案内

表示器やドアチャイム、車いすスペースを設置するなどバリアフリーに対応した車両となっています。また、現在は車いすスペースの増設や新型VVVFインバータの導入など車両のリニューアルを進め、さらなるサービスの向上と省エネルギー化を図っています。



在籍車両数 145両

井の頭線車両のレインボーカラー



左から ブルーグリーン、アイボリーホワイト、サーモンピンク、ライトグリーン、バイオレット、オレンジベージュ、ライトブルー

車両の概要

事業用車両・作業車

クヤ900形(総合高速検測車「DAX」)

実際の列車と同じ速度で走行しながら、架線と軌道を同時に検測することができる検測車です。



在籍車両数 1両

デヤ901形・デヤ902形

総合高速検測車「DAX」などを連結して運用する事業用車両です。



在籍車両数 2両

サヤ912形

機材を運搬するための事業用車両です。



在籍車両数 1両

マルチプルタイタンパー

線路の碎石をつき固め、線路のゆがみを直す作業車です。



在籍車両数 2両

モーターカー

碎石やレールを載せる台車をけん引し、運搬する作業車です。



在籍車両数 14両

陸軌両用作業車

架線の検査や作業用として、道路と線路の両方を走行できる作業車です。



在籍車両数 7両